



見どころ！ここがポイント！

日本三大囃子であり、ユネスコ無形文化遺産登録の『花輪ばやし』を体験できます。事前学習資料・探究要素も豊富です。実際に使用される豪華絢爛な屋台が並ぶ「祭り展示館」を会場に、仲間と一つのお囃子をつくりあげる臨場感あふれる体験です。

プログラムの内容

花輪ばやしは地域の発展を願って始められた神事であり、1000年以上受け継がれてきたお祭りです。花輪ばやしの実演と担い手による講話で理解を深めた後に、実際に太鼓と町踊り担当の二手に分かれて練習し、最後に共演して一つのお囃子をつくりあげます。

地域の祭りの魅力と伝承について学ぶとともに、仲間と一つのお囃子をつくりあげることに伴って学年やクラスの更なる連帯感の醸成に繋がります。

花輪ばやしの以下の特徴について、事前学習・現地で確認してみてください。

- ①豪華絢爛な屋台なのに「腰抜け屋台」って何!?
- ②若者会とはどんな組織? 外交って何、どんな役割!?
- ③花輪ばやしは、42歳で引退する定年制!?
- ④50ページもあるの! 携わる人の熱量が伝わる花輪ばやしマガジン

SDGs「17の目標（ゴール）」と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット4.7）文化の多様性と文化の持続可能な開発に必要な知識を習得する
- ゴール8（ターゲット8.9）花輪ばやしを通し関係人口を拡大し、持続可能な観光業を促進する
- ゴール11（ターゲット11.4）日本三大囃子 花輪ばやしの文化継承の努力を強化する



鹿野観光の拠点 道の駅かづの あんとらあ
(2021年秋田県SDGsパートナーに登録)



豪華絢爛な十町内の屋台が並ぶ
「祭り展示館」が体験会場



「花輪ばやし」の担い手が、懇切丁寧に指導



太鼓と町踊りの共演
一つのお囃子をつくりあげます

事前学習

- ユネスコ無形文化遺産について調べてみよう
- 花輪ばやしについて調べてみよう
- 自分達の住む地域のお祭り、行事について調べてみよう
<施設で対応できること>
花輪ばやしマガジンの送付（ダウンロードURLの共有）

現地学習

- 花輪ばやしの実演と担い手によるお話（15分）
- 花輪ばやしの太鼓練習と町踊りの講習（30分）
- 太鼓と町踊りの共演（15分）

事後学習

- 自分達の住む地域のお祭り、行事、伝統文化についてどうしたら将来の世代に継承していくことができるかグループで話し合い、発表してみよう。

受入人数

20～100

名

対象

小学生・中学生・高校生

受入可能時期
(休業日)

通年

1人/1回
当たり料金

1回 70,000円

受入可能時間

9:00～17:00

備考
(雨天対応等)

太鼓担当は、4～6名となります。その他の方は、町踊り担当となります。

体験時間

約60分

問い合わせ

企業/施設名称: 道の駅かづの あんとらあ

担当名: 木村 友晃

TEL: 0186-22-0555

営業時間: 9時～17時

休館日: 不定休



4 質の高い教育を みんなに	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを
-----------------------------	----------------------------	--------------------------------



見どころ！ここがポイント！

沿線の特徴を活かした車内から鑑賞する田んぼアート、貸切車両内でのマタギ講演など、地域と一体となった観光誘客の取り組みについて学びます。独自のワークショッププログラムに沿って、現地のスタッフのファシリテートのもと『新たな観光誘客に向けた秋田内陸線への提言』を話し合うことでローカル線の未来について考えます。

プログラムの内容

秋田内陸線は、内陸北部の鷹巣駅（北秋田市）と内陸南部の角館駅（仙北市）間の94.2キロを結ぶ第3セクター。沿線人口の減少と少子化による定期券利用の減少という厳しい環境下、沿線の特徴を生かした列車運行等を通じた国内外観光客誘致により、地域住民の足を守ると共に沿線地域活性化に向けて住民と一体となって取り組んでいます。

中でも、秋田内陸線の車両を展望台に見立て、車窓からの風景を楽しむ「田んぼアート」は、地元測量会社が図面をつくり、農家・JA・自治体職員・小学生・住民等が協力して作り上げています。本プログラムでは、秋田内陸線貸切車両に乗車し里山や大自然の風景を楽しみながら取り組みを学び、阿仁合駅の近くの会場にてグループ毎に観光客誘客に向けたアイデアを考えるワークショップを通じて、ローカル鉄道の役割や維持・存続について考えます。

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

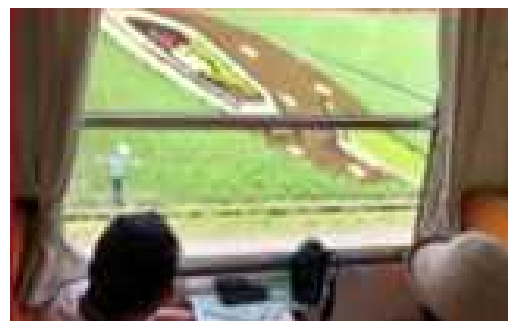
- ゴール4（ターゲット4.7）ワークショップの開催を通して持続可能な開発に必要な知識を習得する
- ゴール8（ターゲット8.9）秋田内陸線の運行を通して雇用創出、地域の文化振興・商品販促に寄与する
- ゴール11（ターゲット11.2）脆弱な立場の人に配慮した持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する



運行車両は、鉄の3兄弟（秋田マタギ号・笑EMI号・秋田縄文号）のリクエストも可能。



鷹巣駅～阿仁合駅 4両運行可能（所要60分）
阿仁合駅～鷹巣駅 3両運行可能（所要90分）



車窓から一番よく見えるよう測量、作成された田んぼアート（見頃 6月下旬～9月下旬）



内陸線応援社員、駅オーナー制度などの取り組みも

事前学習

- 自分達の住む地域の公共交通機関の利用状況について調べてみよう。
- 第三セクターや、鉄道の官民連携について調べてみよう。
- 秋田内陸線のホームページ等で、現在どのような取り組みを行っているか確認してみよう。

現地学習

- 貸切車両に乗車体験（60分～150分）
- 観光誘客に向けたワークショップ（90分 会場：北秋田市役所阿仁庁舎 秋田内陸線 阿仁合駅から徒歩2分）
※貸切車両をイベント列車として運行可能。
例）この地域ならではのマタギについて学ぶ「マタギ列車」

事後学習

- 自分達の住む地域の公共交通機関の将来像について、住民（高齢者、現役、子育て等の世代別）・自治体・運営会社に分かれて話し合い、発表してみよう。

受入人数

60（要相談）

名

対象

小学生・中学生・高校生

受入可能時期
（休業日）

通年

受入可能時間

運行区間、運行時間は要相談

体験時間

60分～180分（乗車区間による）

1人/1回
当たり料金

貸切1両当り（1両当り定員42名～60名）
小学生 45,000円 中学生以上 50,000円
※ワークショップ、イベント列車の追加費用は別途要。

備考
（雨天対応等）

ワークショップの開催は、1回最大60名 費用10,000円。
会場は、北秋田市役所 阿仁庁舎2階（阿仁合駅より徒歩1分）乗車体験は、最大150名受入可能。

問い合わせ

企業/施設名称：秋田内陸縦貫鉄道株式会社
担当名：齊藤伸一
TEL：0186-82-3231
営業時間：8：30～17：15
休館日：土日祝





見どころ！ここがポイント！

総出力180万キロワット、一般家庭400万世帯分の年間消費電力を生み出す能代火力発電所、年間を通し日本海からの強い風が吹く地域特性を活かした新能代風力発電所。2つの異なる発電所見学を通して、暮らしとエネルギーについて考えるプログラム。普段なかなか見ることができない、火力発電所の設備や、風車のタワー内部を見学することができます。

プログラムの内容

能代火力発電所では、皆さんのバスにスタッフが同乗し火力発電の主燃料である石炭を貯蔵する貯炭場等の構内を巡った後に、タービン発電機、中央制御室、タービン建屋屋上などをご案内します。日本の電気供給の約8割を占める火力発電の機能や役割、環境負荷低減に向けた取り組みについて学習します。

新能代風力発電所では、風車の間近でブレード(翼)が風を切る様子を感じながら風力発電の仕組みや特徴について説明後、実際に風車のタワー内部を見学します。

2つの発電所の見学を通して、暮らしに欠かせない電気がどのように作られているかを知ると共に安定供給に向けて必要なエネルギーミックスについて考えます。

SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット」

- ゴール7(ターゲット7.1) 電気の安定供給へ向けた取り組み、地域特性に合わせた電源開発を考える。
- ゴール13(ターゲット13.3) 発電による環境への影響を知り、負荷低減や資源の有効利用を考える。



能代火力発電所 全景
スタッフが同乗し構内をご案内



能代火力発電所
1号機の蒸気タービンと発電機



日本海沿岸部に立ち並ぶ風力発電機



普段は入ることができないタワー内部を見学

事前学習

- 家庭で1日にどのくらい電気を使っているか調べてみよう。
- 日本ではどのようなエネルギー資源を使って発電をしているか調べてみよう。
- いろいろな発電方法のメリット・デメリットについて調べてみよう。
- エネルギーミックスとは? 調べてみよう。
- 地図アプリで能代の火力・風力発電所の立地を確認し、どのような特徴があるか考えてみよう。

現地学習

- 能代火力発電所の見学(60分)
- 新能代風力発電所の見学(45分)
- 移動(15分)
- ※2クラスの場合は、火力発電所と風力発電所を入替でご案内します。洋上風力発電所の見学はありません。
- ※併設の能代エナジウムパークも見学可能です。(追加30分)

事後学習

- 日常生活において自分達にできる節電アクション(省エネへの取り組み)について、グループで話し合い、発表してみよう。

受入人数

1～60(最大2クラス)

名

対象

小学生・中学生・高校生

受入可能時期
(休業日)

4月中旬～11月(土日祝休業)

1人/1回
当たり料金

無料

受入可能時間

9:30～16:00(午前・午後各1校限定)

備考

(雨天対応等)

- ・2クラスの場合は、火力と風力を入替制でご案内致します。
- ・荒天時、風力発電所の見学はバス車中での説明となります。
- ・見学に際しては事前の日程調整が必要になります。1か月前までに希望日・人数・連絡先をお知らせください。

体験時間

2時間程度
(能代エナジウムパークの見学は追加30分)

問い合わせ

企業/施設名称: 東北電力 能代火力発電所 能代エナジウムパーク

TEL: 0185-52-2955

営業時間: 9:30～16:30

休館日: 毎週月曜日/年末年始

(月曜日が祝日の場合は翌日)





見どころ！ここがポイント！

日本一の花火師を決める全国花火競技大会「大曲の花火」開催地の大仙市は、普段も花火に関する見どころがいっぱい花火の資料館や花火工場を見学し、火薬の平和利用を実感まちなかで「こんなところにも花火？」が発見できるかも

プログラムの内容

- 花火伝統文化継承資料館はなび・アムで花火の歴史や仕組みを学習
- 花火工場で花火の製造作業を見学し、模型玉で花火づくりを体験
- そのほか学校の希望に沿ってオーダーメイドで作り上げるオリジナル花火の打ち上げもオプションで楽しめます

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール4（ターゲット4.1）日本の花火文化とそれを支える技術に触れる機会を提供する
- ゴール11（ターゲット11.3）さらなる花火文化の発展に努め、地域社会と協調し元気なまちづくりに貢献する
- ゴール16（ターゲット16.1）火薬の平和利用を推奨し「花火」が平和の象徴であることを発信し続ける



貴重な花火資料が見られる「はなび・アム」



はなびシアターで「大曲の花火」を体感



実際の花火玉製造作業を見学



模擬花火玉づくりに挑戦

事前学習

- 花火の起源、発祥について調べてみよう
- どうしてさまざまな花火の色があるの？
- 花火の大きさを知ろう

現地学習

- はなび・アム見学（60分）
- 花火工場見学※模擬花火玉づくり含む（120分）
花火づくりにおける注意事項を科学的に理解しよう！
- オプションで学校オリジナル花火の打ち上げも可能です！

事後学習

- 「きれい」だけじゃない、花火の魅力を考えてみよう
- こんな花火はできるかな？花火の可能性は無限大
- 地域を元気にする花火大会のありかたを考えてみよう！

受入人数

10～120

名

対象

小学校高学年以上

受入可能時期
(休業日)

4月～6月/9月～3月（その他応相談）

1人/1回
当たり料金

はなび・アム見学 無料
工場見学・花火模型玉づくり 1人 /2,750円（税込）

受入可能時間

9：30～16：30

備考
(雨天対応等)

人数によっては、見学のコース順が班別で分かれることがあります

体験時間

180分（プログラムにより応相談）

問い合わせ

企業/施設名称：株式会社花火創造企業

担当名：企画営業課 最上谷友宏

TEL：0187-73-5101

営業時間：9：00～17：00

休館日：土日祝（不定休）

